

## No title available

**Publication number:** JP49075154 (U)

**Publication date:** 1974-06-28

**Inventor(s):**

**Applicant(s):**

**Classification:**


- international: *F25D1/00; F25D1/02; F25D25/00; F25D1/00; F25D25/00;*  
(IPC1-7): F25D25/00

- European:

**Application number:** JP19720118552U 19721016

**Priority number(s):** JP19720118552U 19721016

**Also published as:**

 JP51043496 (Y2)

Abstract not available for **JP 49075154 (U)**

---

Data supplied from the *espacenet* database — Worldwide

⑫日本分類  
69 B 1

⑬日本国特許庁

# 公開実用新案公報

⑭実開昭49-75154

庁内整理番号 6758-32

⑮公開 昭49(1974). 6.28

審査請求 有

## ⑯容器の浮上軽減装置

- ⑰実 願 昭47-118552  
 ⑱出 願 昭47(1972)10月16日  
 ⑲考 案 者 出願人と同じ  
 ㉑出 願 人 沖原正宜  
 東京都品川区西大井6の8の18  
 ㉒代 理 人 弁理士 青木明 外2名

## ㉓実用新案登録請求の範囲

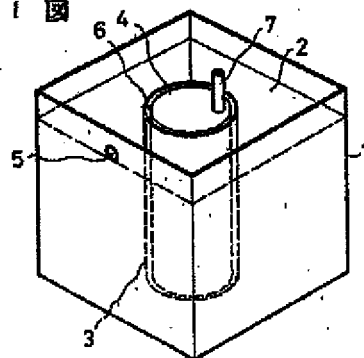
収容物を適宜抽出することのできる容器と、液体状の伝熱媒体を受容した槽とを含み、この容器を前記媒体中に浸漬せしめ、この媒体を加熱または冷却することによつて容器内の収容物を加熱、冷却又は保温する装置において、前記槽の内部に前記媒体と連通せずかつ容器の大きさより僅かに

大きい少くとも1つの内部槽を設け、この内部槽に前記容器を収容し、さらに前記内部槽と前記容器とによつて規定された空間領域内に液体状の伝熱媒体を収容し、これによつて容器内の収容物が抽出されて容器全体の重量が減少したとき起る容器の浮上を軽減せしめることを特徴とする容器内収容物の加熱、冷却又は保温装置における容器の浮上軽減装置。

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る装置の概念的な説明図、第2図は本考案の原理を説明する説明図である。図中の参照数字は次のものを示す：1……外部槽、2……液体媒体、3……内部槽、4……容器、5……オーバーフロー用穴、6……液体媒体、7……抽出用パイプ。

第1図



第2図

